



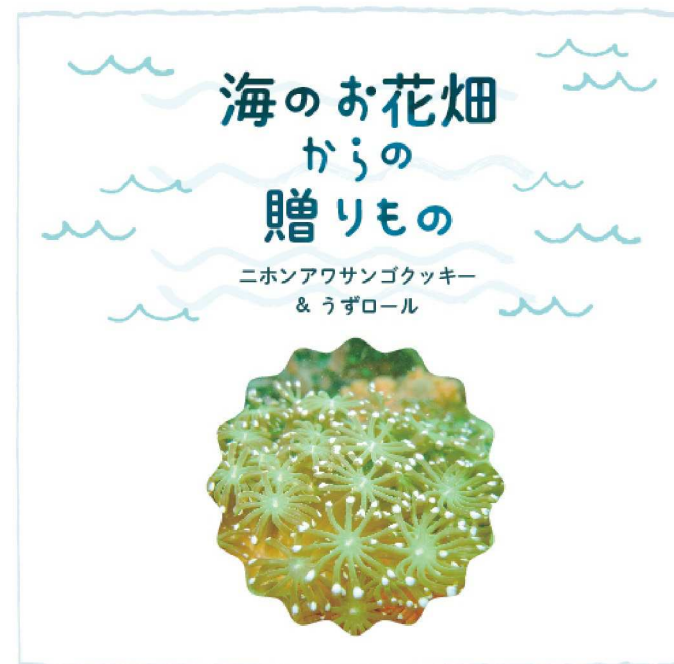
海のお花畑をイメージした
ニホンアワサンゴクッキー
& うずロール



海と日本プロジェクト in やまぐち
ぶち海体験隊 II



このお菓子の売り上げの一部はニホンアワサンゴの保護活動に使わせていただきます。





海と日本プロジェクト in やまぐち ぶち海体験隊 II

2021年夏、私たち山口県の小学5・6年生22人は「ぶち海体験隊」を結成して周防大島町を訪れ、海の花束と呼ばれるニホンアワサンゴについて学びました。日本財団が推進する「海と日本プロジェクト」の一環です。



周防大島町には3000㎡にも及ぶ世界最大級のアワサンゴ群生地があり、ぶち海体験隊は海に入ってその様子を観察しました。1年前、大雨による土砂の流入などで大量死が確認されましたが、徐々に復活しているようでした。

なぜここに広大な群生地ができたのでしょうか。

海に臨む里山に登ると落葉樹の森があり、その腐葉土層を通して流れ込む栄養豊かな水が、アワサンゴを育んだのではないかと思います。地元の人たちはアワサンゴを守るため山の保全活動に取り組んでいて、ぶち海体験隊も少しだけ参加しました。



今回の体験を通して私たちは「海と山はつながっている」「みんながもっと海に関心をもってほしい」「小さなことでも自分にできることをしていきたい」と思いました。

私たちの思いを一人でも多くの方に知ってもらうため、このアワサンゴをイメージしたお菓子を考えました。同封の「うずロール」は、周防大島に渡るときに見た大島瀬戸の渦潮を表現しています。

このお菓子を食べられた方が、海の中で揺らぐニホンアワサンゴを想像され、「ぶち」きれいな海を未来につなげたいと思っていただければ嬉しいです。